

2021年3月期第2四半期 決算説明会

住

Infrastructure

2020年10月30日
株式会社トプコン
代表取締役社長 平野 聡

医

Healthcare

食

Agriculture



会社紹介
ビデオ

2021年3月期第2四半期 決算説明会

I. 2021年3月期第2四半期 決算報告

II. 2021年3月期 通期見通し

III. トピック

IV. まとめ

V. 参考資料

I. 2021年3月期第2四半期 決算報告

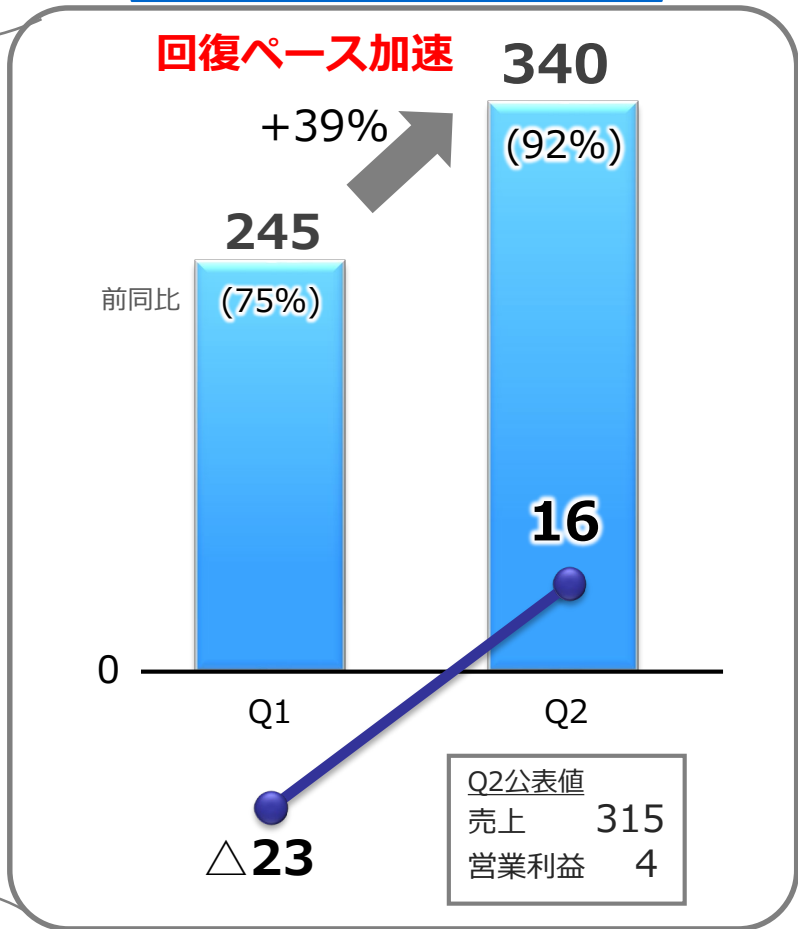
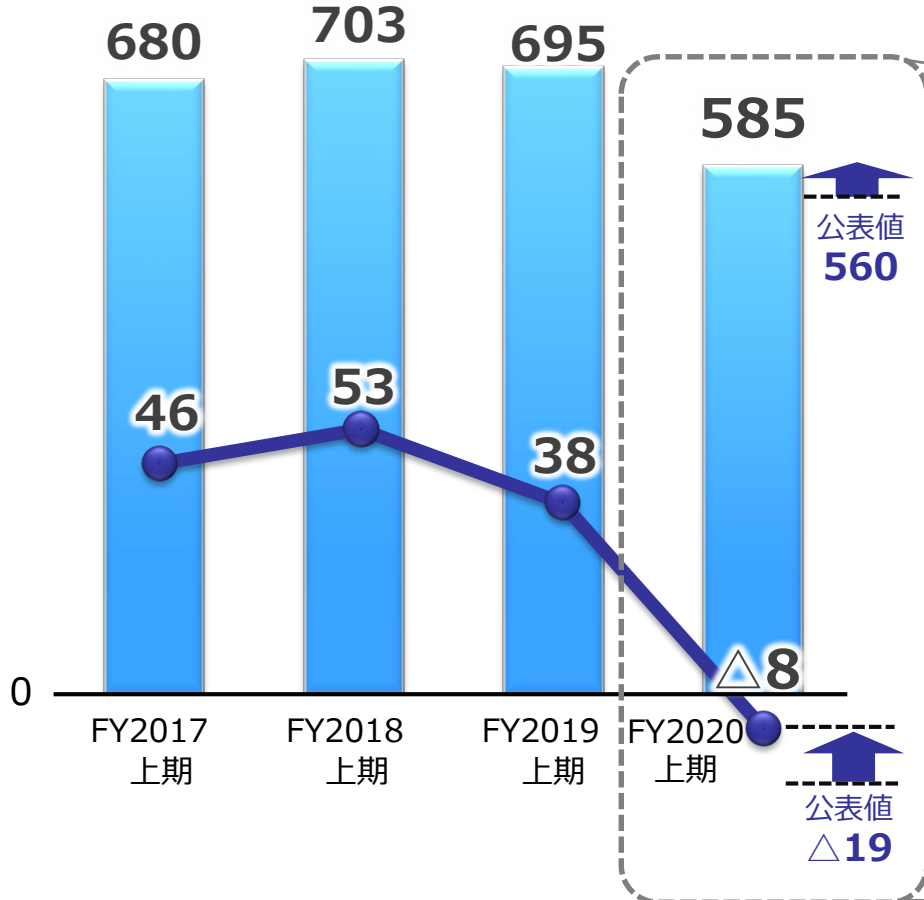
I-1. 2021年3月期第2四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

FY2020 上期決算概要

- 上期減収減益もQ2黒字化・回復ペース加速
- 公表値達成

四半期別ブレイクダウン



Q2公表値	
売上	315
営業利益	4

(単位：億円) 売上高 営業利益 対前四半期伸長率 (%)

FY2020 上期実績

- 減収減益もQ2計画以上の黒字化
- 回復ペース加速

(単位：百万円)

	FY2019 上期実績	FY2020				
		実績		前期	前年同期比	7月31日 公表値
		Q1	Q2			
売上高	69,527	24,493	33,971	58,465	△11,062 (△16%)	56,000
売上総利益 (売上総利率)	36,972 (53.2%)	11,680 (47.7%)	16,708 (49.2%)	28,389 (48.6%)	△8,582	
販管費	33,161	14,003	15,154	29,158	△4,003	12%削減
営業利益 (営業利益率)	3,810 (5.5%)	△2,322 (△9.5%)	1,554 (4.6%)	△768 (△1.3%)	△4,579	△1,900 (△3.4%)
営業外損益	△1,049	△721	△308	△1,029	19	
経常利益	2,761	△3,043	1,245	△1,797	△4,559	△3,100
特別損益	△555	△31	△130	△162	393	
税引前利益	2,205	△3,074	1,114	△1,960	△4,165	
純利益	895	△2,482	444	△2,037	△2,933	△2,600
為替 換算レート (期中平均)	USD 109.00 円	107.74 円	105.88円	106.68 円	△2.32 円	
	EUR 121.43 円	118.94 円	123.71円	121.36 円	△0.07 円	

FY2020 上期事業別実績

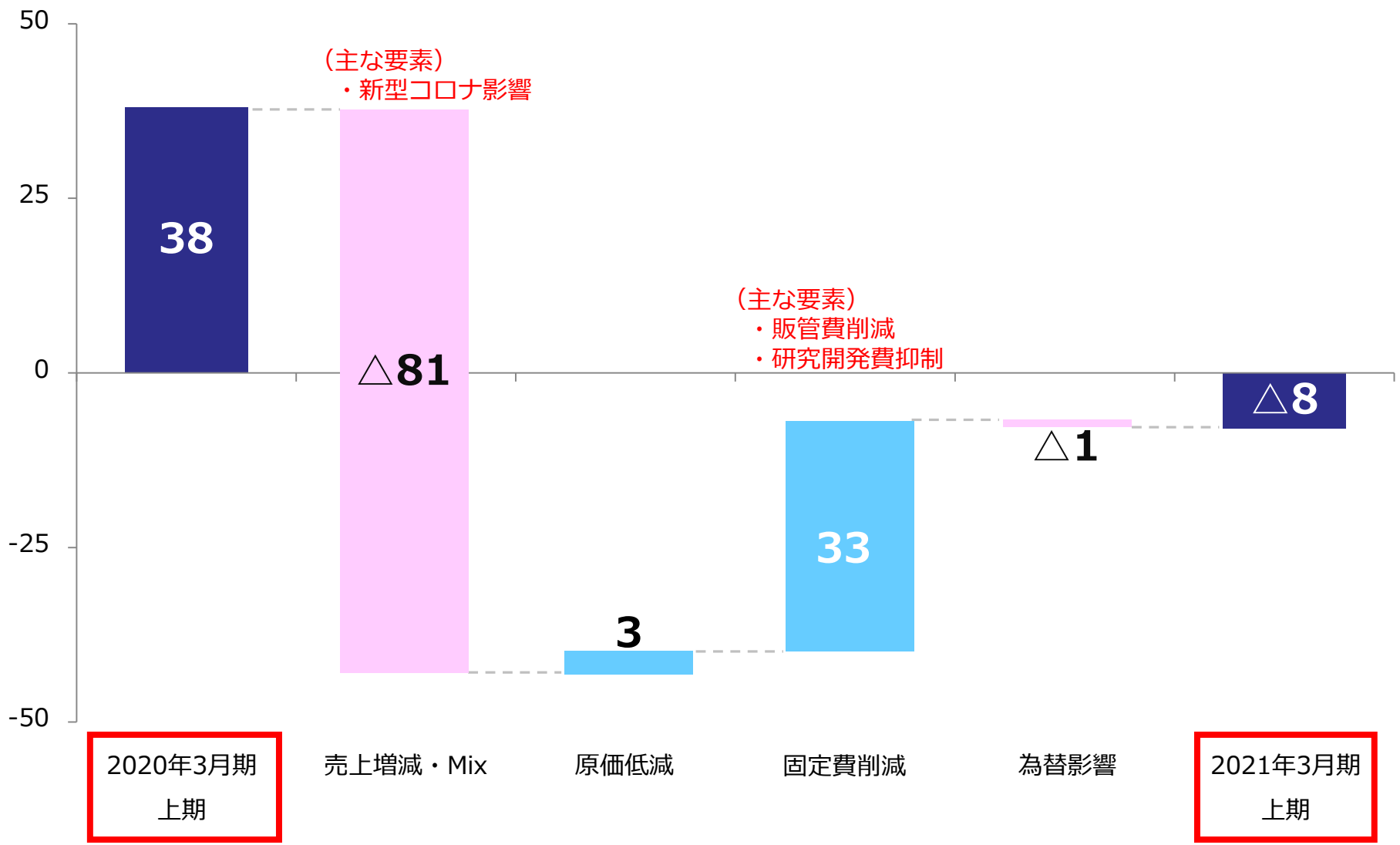
■ 全事業で営業利益公表値達成

(単位：百万円)

		FY2019	FY2020			
			上期実績	前年同期比	前年同期比%	7月31日 公表値
売上高	ポジショニング	37,116	32,141	△4,975	△ 13%	29,700
	スマートインフラ	17,057	14,886	△2,170	△ 13%	14,300
	アイケア	22,202	16,785	△5,417	△ 24%	17,000
	その他	686	500	△185	△27%	600
	消去	△7,535	△5,849	1,686		△5,600
	合計	69,527	58,465	△11,062	△ 16%	56,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	2,850 (7.7%)	2,157 (6.7%)	△692	△ 24%	1,300 (4.4%)
	スマートインフラ	2,492 (14.6%)	1,777 (11.9%)	△714	△ 29%	1,500 (10.5%)
	アイケア	616 (2.8%)	△2,388 (△14.2%)	△3,004	-	△2,500 (△14.7%)
	その他	△62 (△9.1%)	△255 (△51.1%)	△193	-	△200 (△33.3%)
	調整	△2,086	△2,060	26		△2,000
	合計	3,810 (5.5%)	△768 (△1.3%)	△4,579	-	△1,900 (△3.4%)

FY2020 上期増減益分析 (営業利益ベース:前年同期比)

(単位: 億円)



I. 2021年3月期第2四半期 決算報告

I-1. 2021年3月期第2四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

■ 上期減収減益もQ2は堅調な回復

(単位：百万円)

	FY2019		FY2020		
	上期実績	上期実績	前年同期比	%	公表値
売上高	37,116	32,141	△4,975	△13%	29,700
営業利益 (営業利益率)	2,850 (7.7%)	2,157 (6.7%)	△692	△24%	1,300 (4.4%)
為替 換算レート (期中平均)	USD 109.00 円	106.68 円	△2.32 円		
	EUR 121.43 円	121.36 円	△0.07 円		

■ 上期業績要因分析

・ 全般

- エssenシャルビジネスとして底堅い需要を背景に
Q2売上はQ1比で順調に拡大
- 売上伸長により営業利益率が改善 Q1: 3.8% → Q2: 9.1%

・ ICT自動化施工

- Q2売上はアフターマーケットがほぼ前年並みに回復、
OEMも復調の兆し

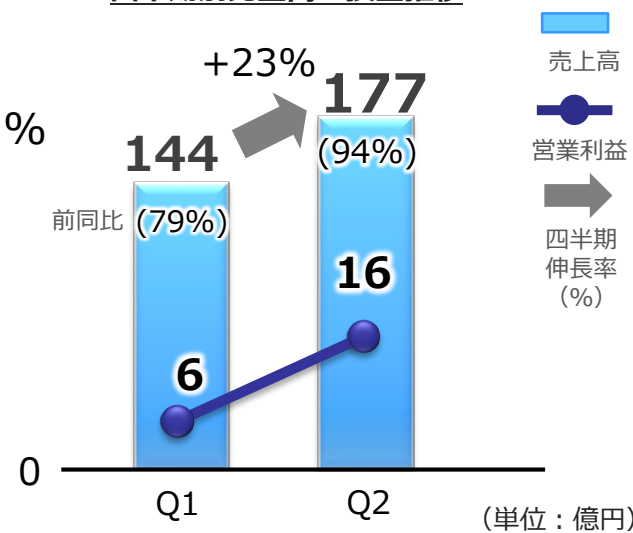
・ IT農業

- アフターマーケットが大幅伸長、OEMも徐々に回復

・ その他

- 好調な住宅建設市場でレーザー製品販売伸長

四半期別売上高・損益推移



■ 上期減収減益もQ2は堅調な回復

(単位：百万円)

	FY2019		FY2020			
	上期実績		上期実績	前年同期比	%	公表値
売上高	17,057		14,886	△2,170	△13%	14,300
営業利益 (営業利益率)	2,492 (14.6%)		1,777 (11.9%)	△714	△29%	1,500 (10.5%)
為替 換算レート (期中平均)	USD 109.00 円		106.68 円	△2.32 円		
	EUR 121.43 円		121.36 円	△0.07 円		

■ 上期業績要因分析

・ 全般

- エssenシャルビジネスとして底堅い需要を背景にQ2売上はQ1比で順調に拡大
- 売上伸長によりQ2の営業利益率が急回復
Q1: 3.7%→Q2: 18.0%

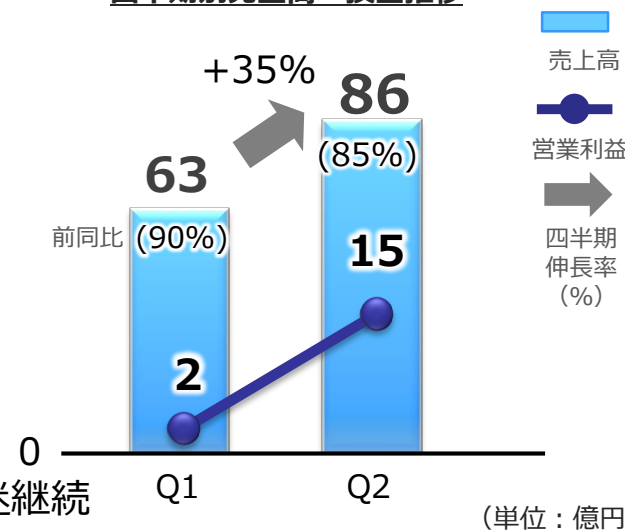
・ 国内

- IT農業は補助金効果により販売大幅伸長
- i-Construction工事増加により需要は堅調に拡大
トータルステーションは前年比販売伸長

・ その他地域

- 新型コロナ影響長期化で東南アジア・インド・中東は低迷継続

四半期別売上高・損益推移



■ 上期減収減益もQ2で急回復

(単位：百万円)

	FY2019		FY2020		
	上期実績	上期実績	前年同期比	%	公表値
売上高	22,202	16,785	△5,417	△24%	17,000
営業利益 (営業利益率)	616 (2.8%)	△2,388 (△14.2%)	△3,004	-	△2,500 (△14.7%)
為替 換算レート (期中平均)	USD 109.00 円	106.68 円	△2.32 円		
	EUR 121.43 円	121.36 円	△0.07 円		

■ 上期業績要因分析

・全般

- 主要市場で経済活動再開に伴い回復ペースが加速、Q2売上はQ1比で急伸
- 9月単月で黒字化

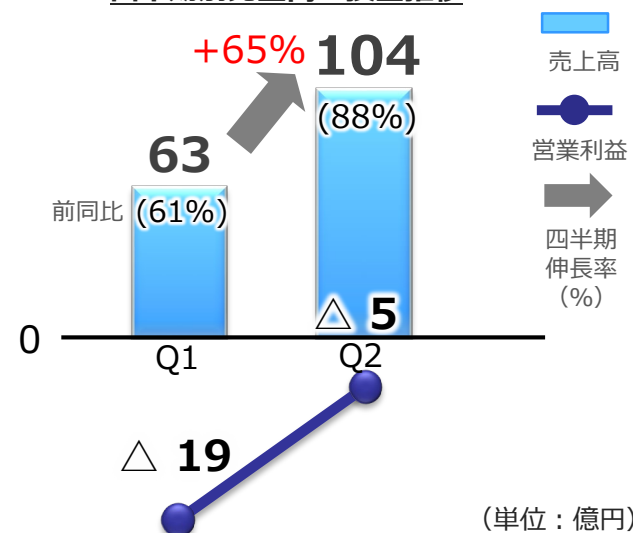
・欧米

- ソーシャルディスタンス対応リモート検眼機器の特需を機敏な対応で取り込み大幅増収
- 米国大手フランチャイズ眼鏡店からの大型受注獲得

・中国

- 新型コロナの影響から脱し、販売網再編との相乗効果により前年同期比増収

四半期別売上高・損益推移



Ⅱ. 2021年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 経営ビジョンに対する新型コロナ影響

Ⅱ-2. 2021年3月期 通期見通し

Ⅱ-3. コロナ下における注力事項

経営
ビジョン

医・食・住の成長市場において 社会的課題を解決し事業を拡大する

- ・ 時間軸への影響は不可避も **ビジョンは不変**
- ・ 成長シナリオに **追い風**

新キーワード

ソーシャル
ディスタンス対応

Essential
Business

経済復興

Ⅱ. 2021年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 経営ビジョンに対する新型コロナ影響

Ⅱ-2. 2021年3月期 通期見通し

Ⅱ-3. コロナ下における注力事項

見通しの前提

■ 事業環境

回復基調の継続に期待するも、欧米における新型コロナウイルス感染再拡大や米中対立激化等のリスクにより、先行き不透明感はある

・ ポジショニング・スマートインフラ

- 建設・農業分野の堅確な需要
- 米大統領選の影響による経済対策の遅延
- 新型コロナ影響長期化による東南アジア・インド・中東市場の低迷継続

・ アイケア

- ソーシャルディスタンス対応のリモート検眼・診断機器の特需継続
- 欧米主要国でのロックダウンの再開は大きなリスク

■ コスト削減

新型コロナ影響による通期減収見通しを踏まえコスト抑制・削減を継続

■ 為替レート

変更なし (Q3以降 1ドル=105円・1ユーロ=123円)

FY2020 通期見通し

通期見通しは据置

(単位：百万円)

	FY2019		FY2020				
	上期 実績	通期 実績	上期 実績	前年同期比 (%)	通期 見通し	前年度比 (%)	2020年 7月31日 公表値
売上高	69,527	138,916	58,465	△16%	128,000	△8%	128,000
営業利益 (営業利益率)	3,810 (5.5%)	5,381 (3.9%)	△768 (△1.3%)	-	3,000 (2.3%)	△44%	3,000 (2.3%)
経常利益	2,761	2,895	△1,797	-	1,000	△65%	1,000
純利益	895	935	△2,037	-	0	-	0
ROE		1.4%			0%		0%
配当	14円	24円	-		5円		5円
配当性向		271%			-		-
為替換算レート (期中平均)	USD EUR	109.00円 121.43円	109.10円 121.14円	106.68円 121.36円		※ 105円 123円	105円 123円

※ Q3以降前提レート

FY2020 通期見通し

(単位：百万円)

		FY2019		FY2020			
		上期 実績	通期 実績	上期 実績	前年同期比 (%)	通期 見通し	前年度比 (%)
売上高	ポジショニング	37,116	73,989	32,141	△13%		
	スマートインフラ	17,057	33,398	14,886	△13%		
	アイケア	22,202	44,758	16,785	△24%		
	その他	686	1,319	500	△27%		
	消去	△7,535	△14,549	△5,849			
	合計	69,527	138,916	58,465	△16%	128,000	△8%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	2,850 (7.7%)	4,537 (6.1%)	2,157 (6.7%)	△24%		
	スマートインフラ	2,492 (14.6%)	5,027 (15.1%)	1,777 (11.9%)	△29%		
	アイケア	616 (2.8%)	136 (0.3%)	△2,388 (△14.2%)	-		
	その他	△62 (△9.0%)	△144 (△10.9%)	△255 (△51.1%)	-		
	調整	△2,086	△4,175	△2,060			
	合計	3,810 (5.5%)	5,381 (3.9%)	△768 (△1.3%)	-	3,000 (2.3%)	△44%

Ⅱ. 2021年3月期 通期見通し

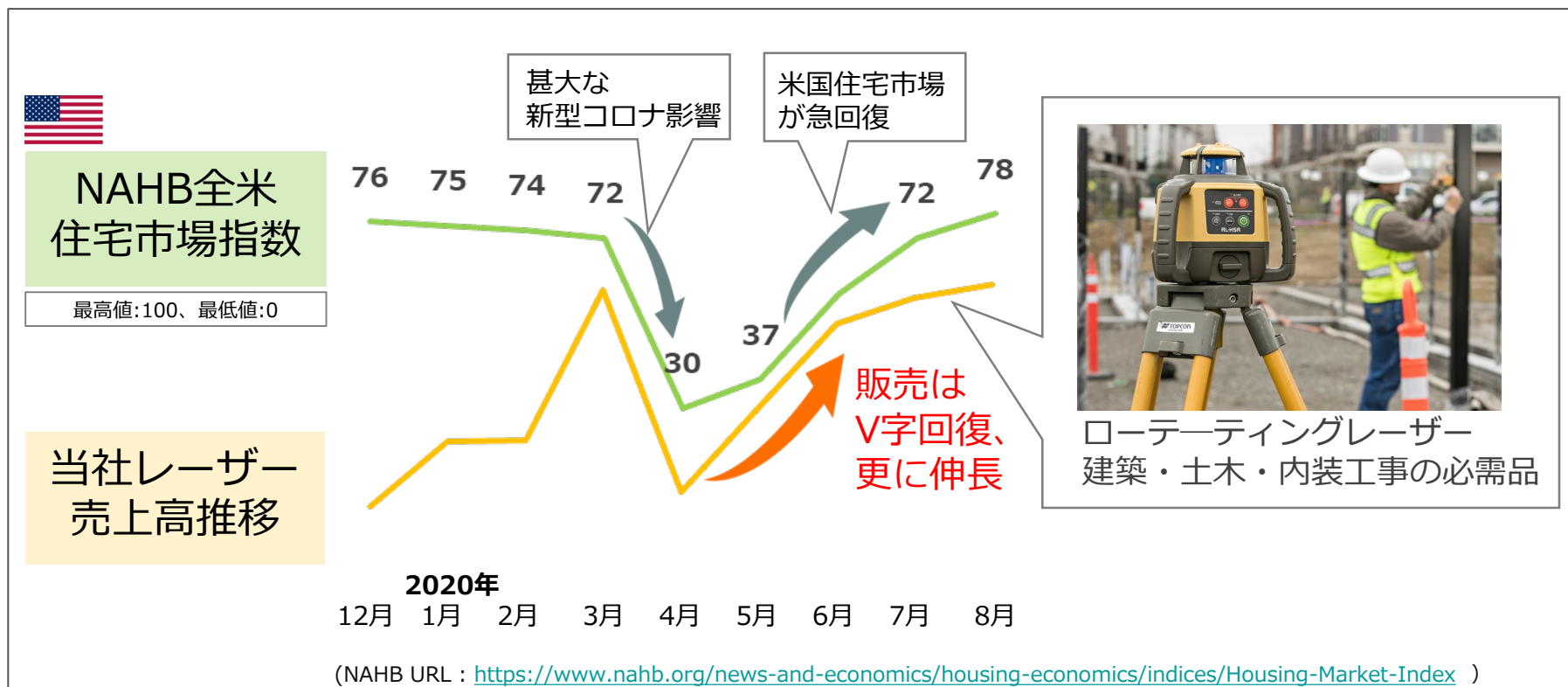
Ⅱ-1. 経営ビジョンに対する新型コロナ影響

Ⅱ-2. 2021年3月期 通期見通し

Ⅱ-3. コロナ下における注力事項

■ 米国でレーザー製品販売好調

- ・ 新型コロナによる**郊外への移住需要**と**低金利**が相まって米国住宅市場は活況
- ・ 道路・下水道などの生活インフラ付帯工事増により、測量機やICT自動化施工を含むコンストラクション関連機器全般の需要取り込みに注力



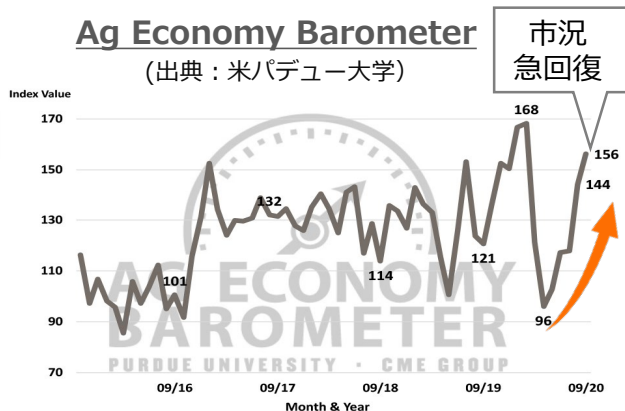
欧米農業市況が急回復、農業補助金がIT技術導入に追い風



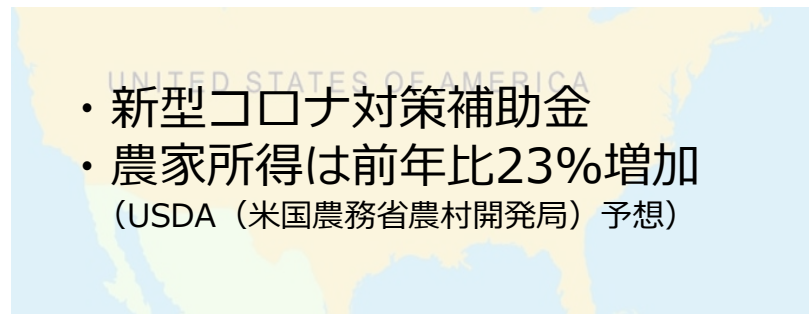
米国

Ag Economy Barometer

米国農家を対象に、毎月経営状態などの質問への回答を集計。15年10月～16年3月の数値を100とし、指数の上昇は景況感の改善を、下降は低下を示す。最高値は200、最低値は0。



(URL : <https://ag.purdue.edu/commercialag/ageconomybarometer/charts/>)



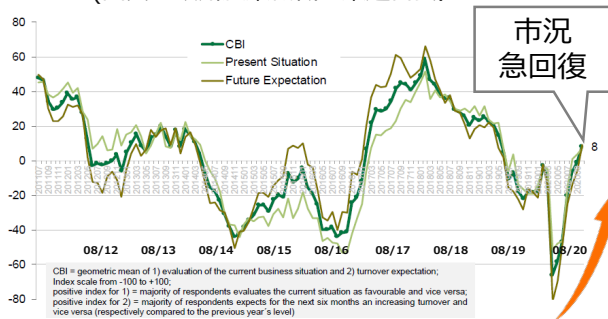
欧州

CEMA Business Barometer

欧州農業機械業界への月次調査。現在のビジネスセンチメントや今後6か月の予想売上高などの質問への回答を集計し毎月調査結果を公開。最高値は100、最低値は-100。

CEMA Business Barometer

(出典：欧州農業機械工業連合会)



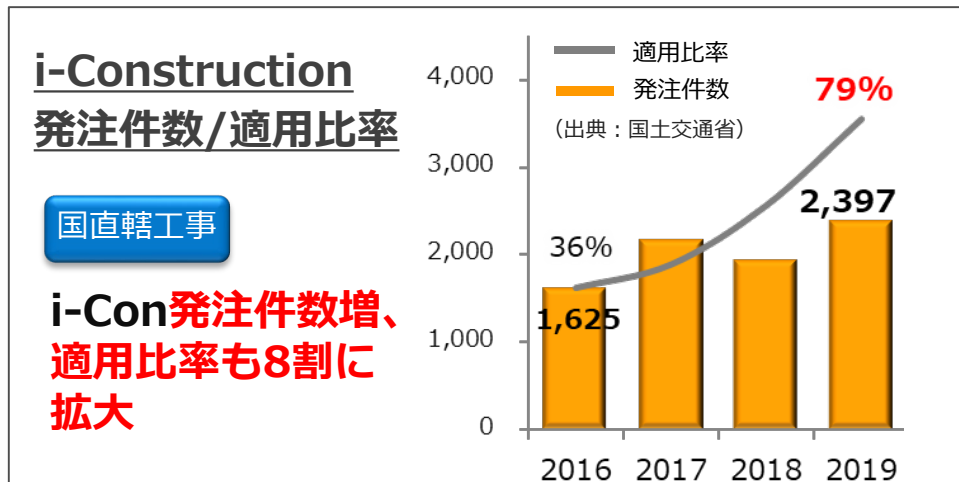
(URL : https://www.cema-agri.org/index.php?option=com_content&view=article&id=717:october-2020-business-climate-positive-after-more-than-a-year&catid=24&Itemid=208)



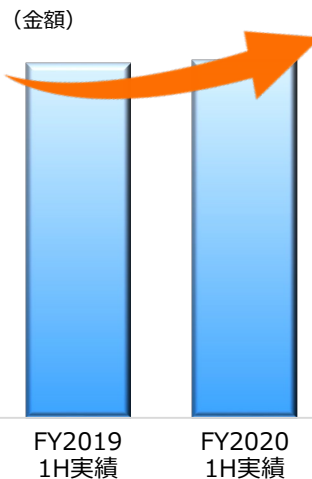
リスク

新型コロナ感染再拡大深刻化の場合、下期売上下振れ影響

■ i-Constructionの普及拡大



国内i-Construction向け 上期売上実績



- ・コロナ下においても前年並み
- ・下期に拡大期待

■ 政府補助金で自動操舵システム普及拡大に追い風

- ・ **経営継続補助金：200億円**
新型コロナウイルス感染対策
接触機会を減らす省力化機械の導入を後押し
- ・ **経営継続補助金への追加支出 240億円**
を閣議決定 (出典：10/16付 日経新聞電子版)

参考：農林水産省ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/keizoku.html>

国内IT農業 上期売上実績



コロナ下においても急拡大

■ ソーシャルディスタンス対応で リモート検眼ニーズがグローバルに拡大

→ 上期：検眼システム売上大幅伸長
下期も更なる拡販に期待

検眼システム
CV-5000
売上実績
(金額)



従来の様式

対面検眼

患者と対面式
近距離検査

眼鏡店等



C



ニューノーマル (新常态)

リモート検眼

ニーズ
急浮上



タブレットでシステムをリモート操作

トプコンの
ソリューションで実現！

デジタル技術

+

検眼システム



CV-5000

・様々なレンズの入れ替えを電子制御し眼鏡の最適度数を決定する検眼システム

Ⅲ. トピック

経産省「デジタルトランスフォーメーション銘柄2020」に選定

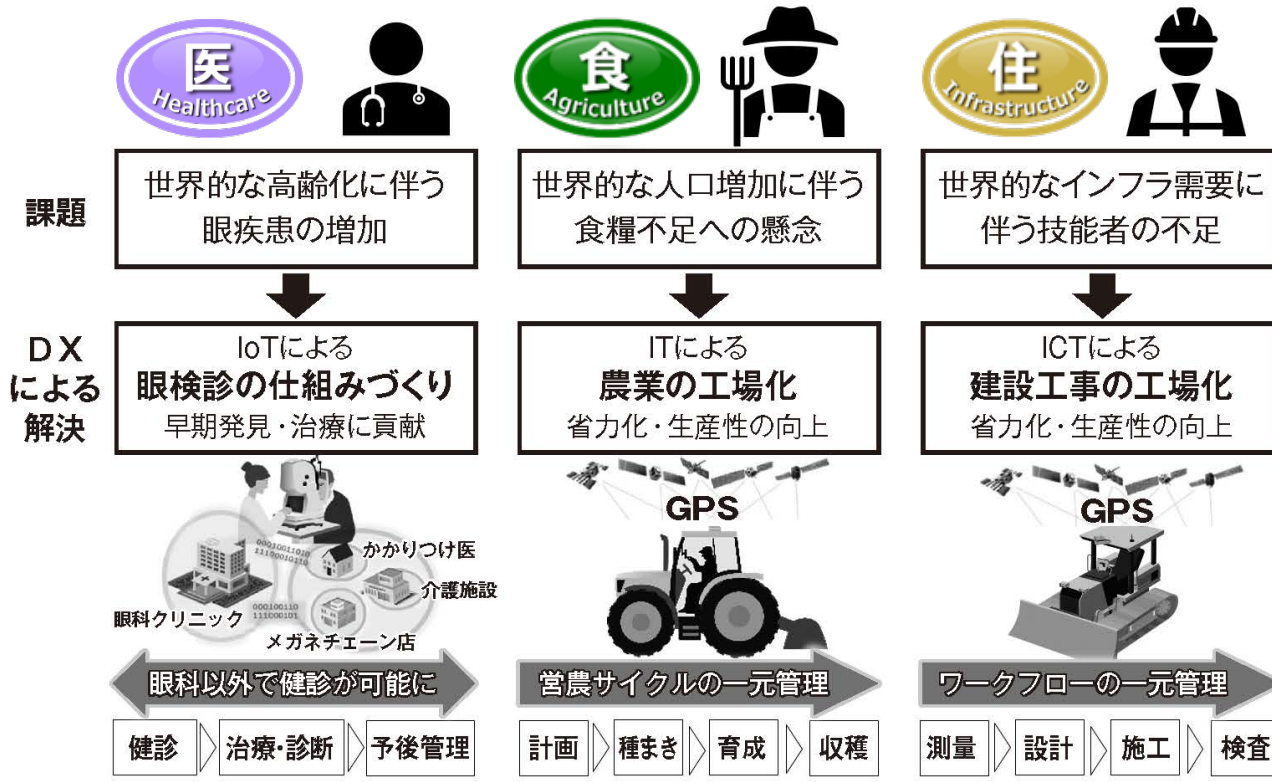
■「医・食・住」に関する社会的課題をDXで解決する取り組みが高評価!!

(発表日 2020年8月25日、当社ニュースリリース：<https://www.topcon.co.jp/about/dx/index.html>)



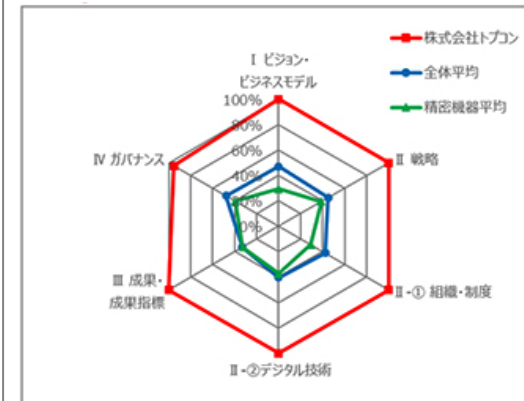
DX銘柄2020
Digital Transformation

DXによる「医・食・住」のイノベーション



国内上場企業 約3,700社
を対象として、**総合評価点
の最も高い企業35社がDX
銘柄**に選出

当社総合評価結果
(経済産業省発表資料より抜粋)



***DX : Digital Transformation**

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

更なる事業拡大を見据え、生産能力を強化

■ 世界オンリーワンの先進的光学部品の新工場竣工

● 2020年10月22日付ニュースリリース
<https://www.topcon.co.jp/news/20201022-28503.html>

トプコンオプトネクサス 新工場（福島県田村市）



落成式でのテープカット

新工場への期待

- ✓ 工場敷地面積 約35,000㎡（現工場の**2倍**）
生産性向上により生産能力**4倍**を目指す
- ✓ 様々な産業分野でコスト追及のための生産海外移転が進む中、**Made in Japan**にこだわり、高品質な光学部品を製造
- ✓ 創業51年の“**匠の技術と品質**”を武器に当社基幹光学部品の製造のみならず、光学部品の外販ビジネスを強化

製造製品

光学レンズ



光学ユニット



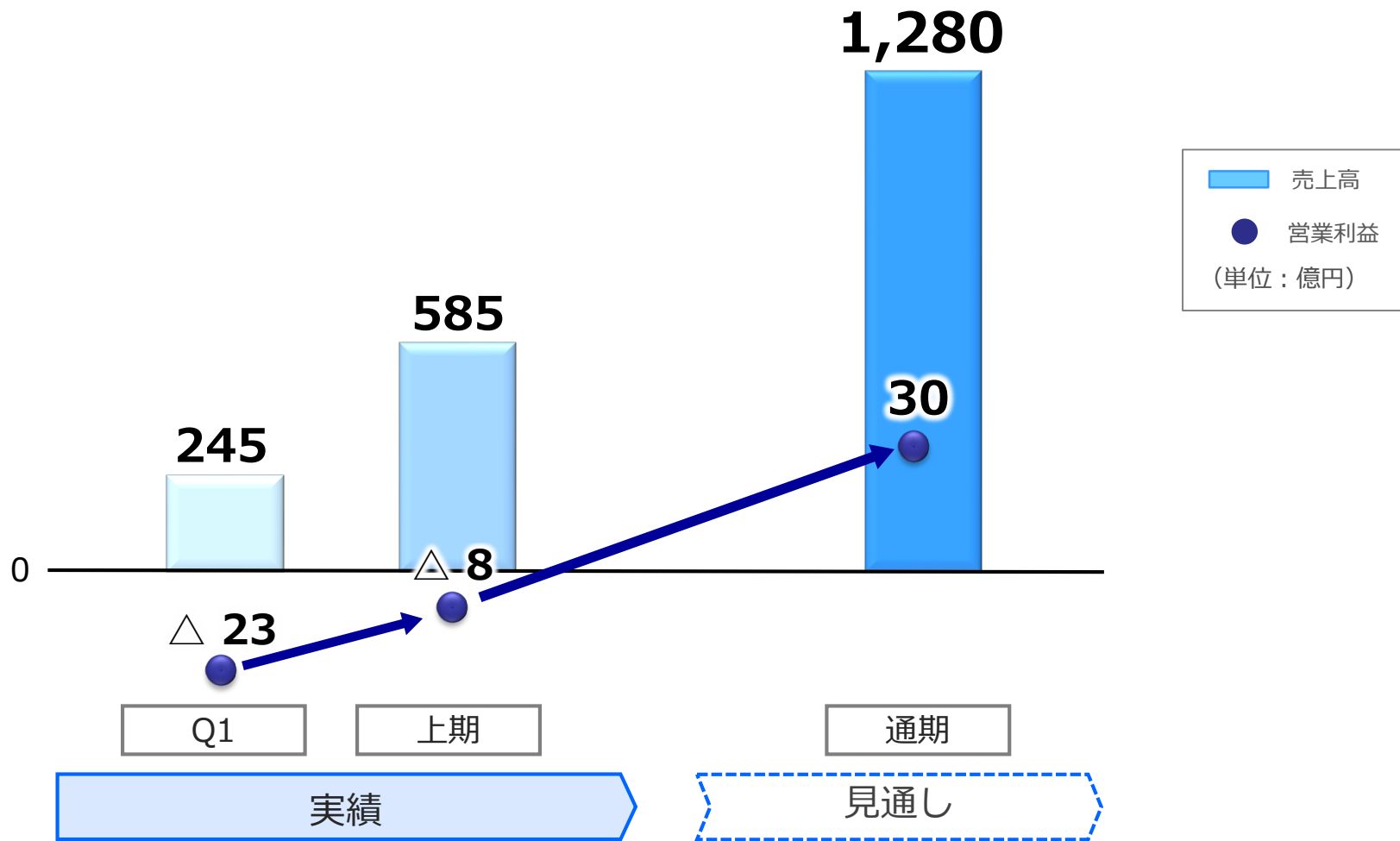
当社主力製品の
先進的光学部品
を製造



IV. まとめ

まとめ

- 上期実績： 減収減益もQ2黒字化・回復ペース加速
- 通期見通し： 新型コロナ感染再拡大、米中对立激化等による不透明感を鑑み年間見通しは据え置き



【TOPCON WAY】

トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

住

Infrastructure

医

Healthcare

食

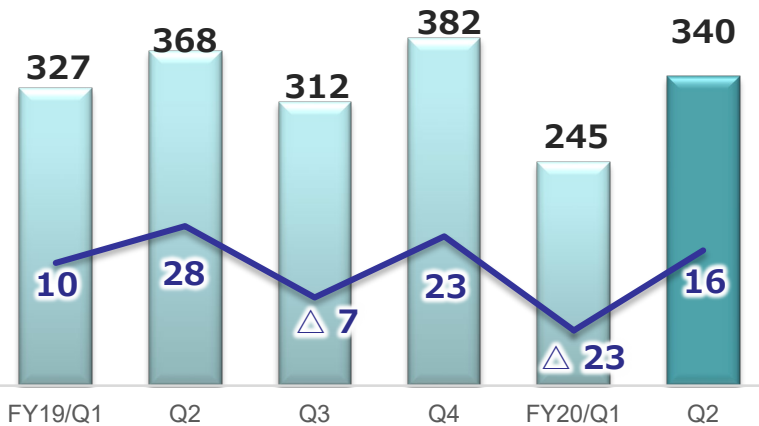
Agriculture

V. 参考資料

四半期別業績推移

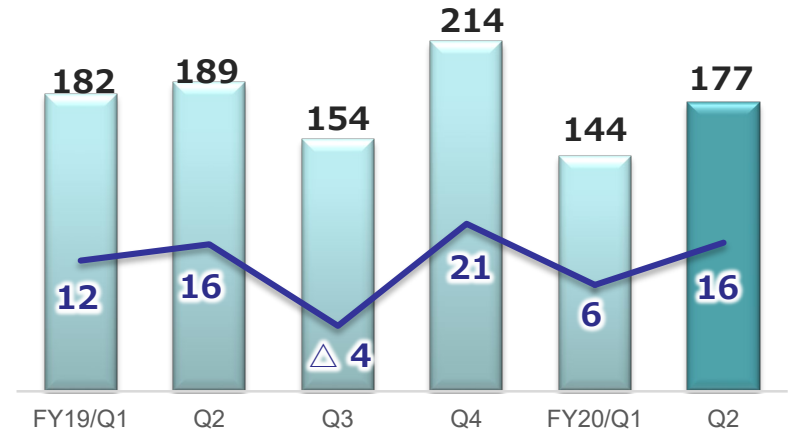
■ 全社

売上高 営業利益 (単位：億円)



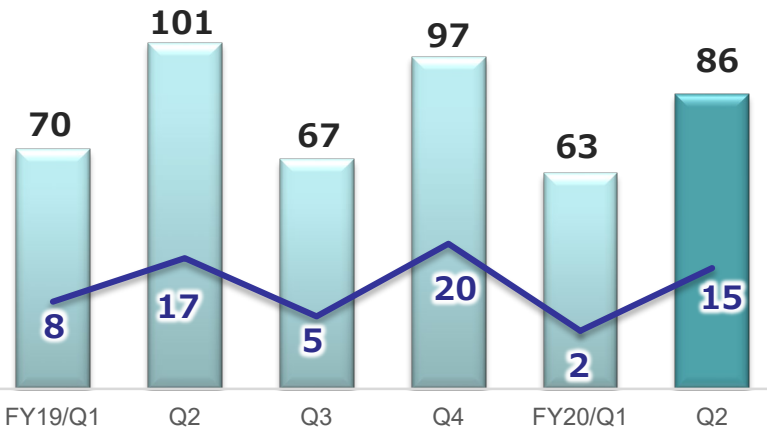
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位：億円)



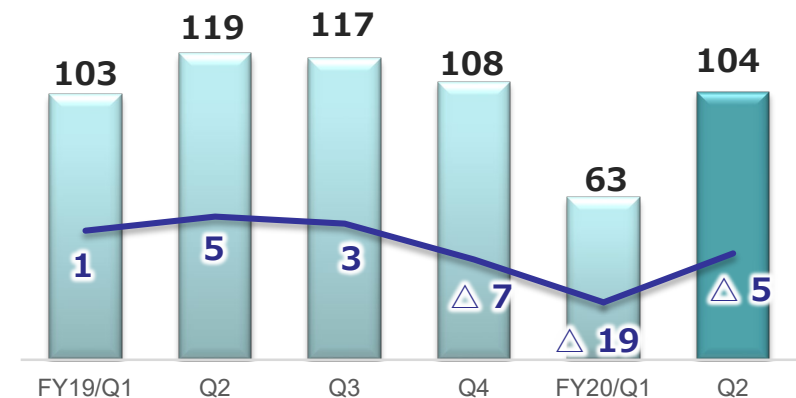
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)



■ アイケア・ビジネス

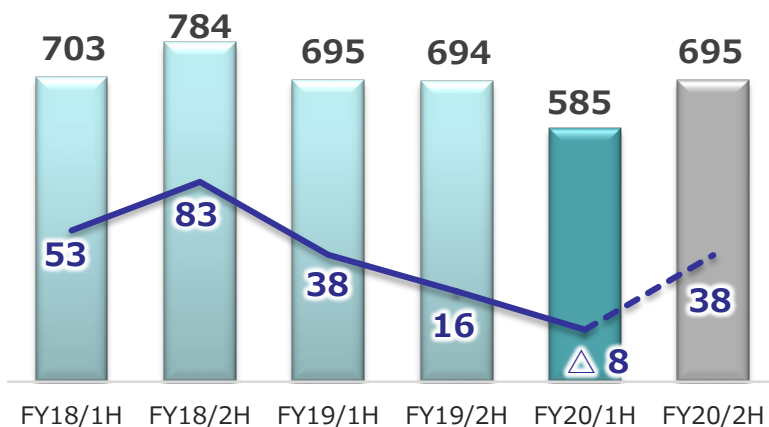
売上高 営業利益 (単位：億円)



半期別業績推移・見通し

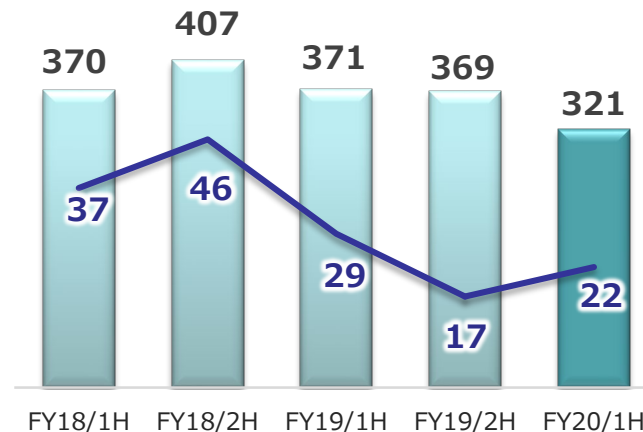
■ 全社

売上高 営業利益 (単位：億円)



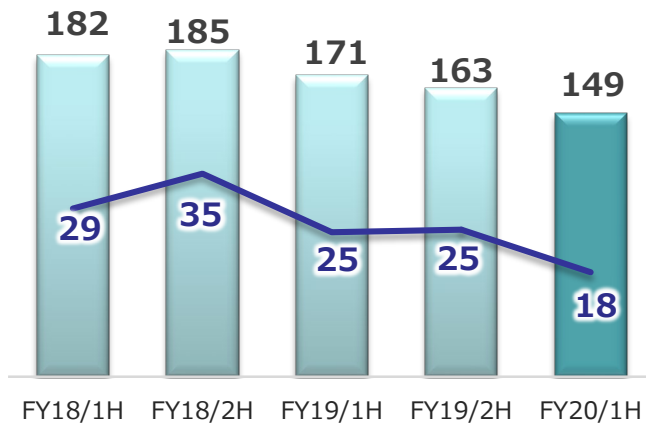
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位：億円)



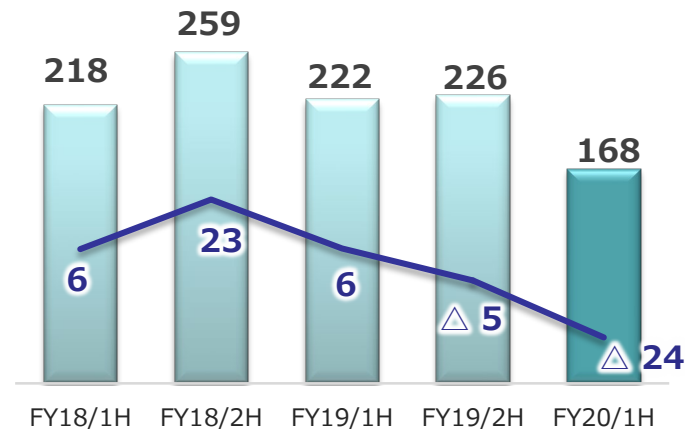
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)



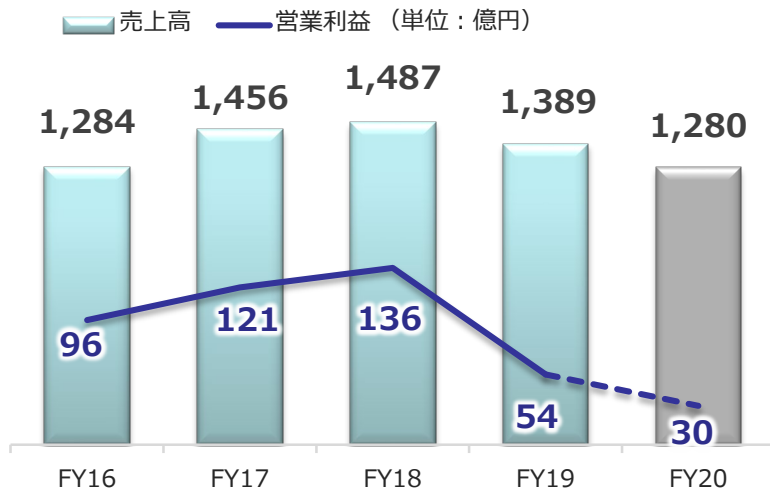
■ アイケア・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)

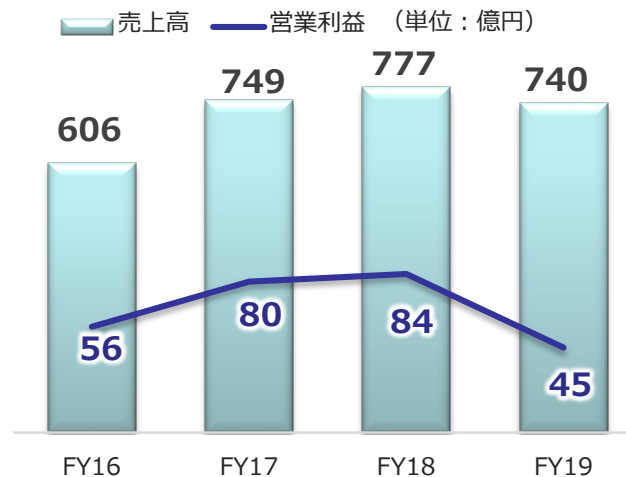


年間業績推移・見通し

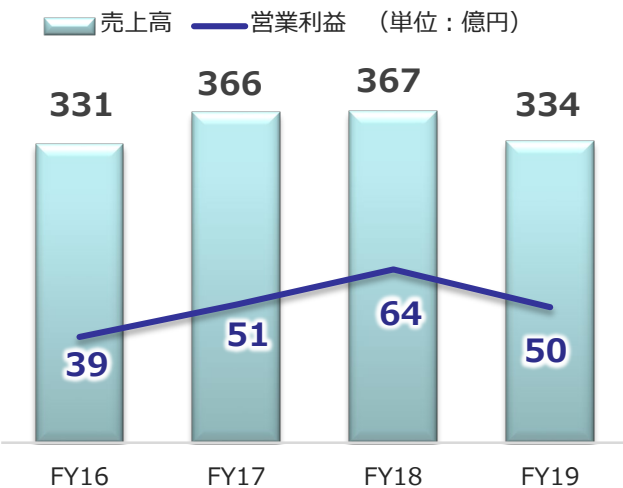
■ 全社



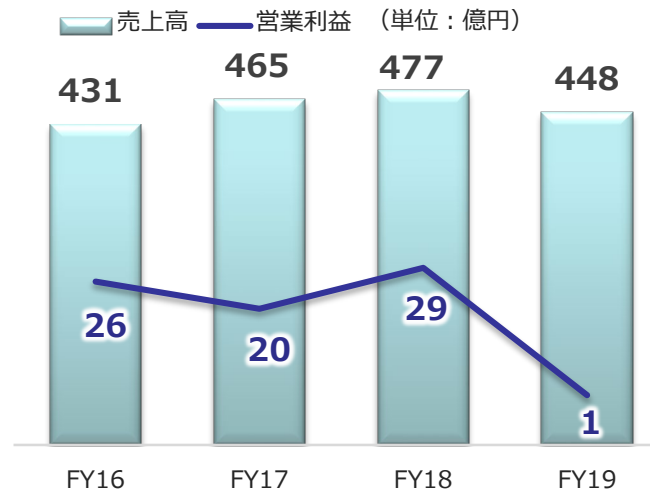
■ ポジショニング・カンパニー



■ スマートインフラ・ビジネス



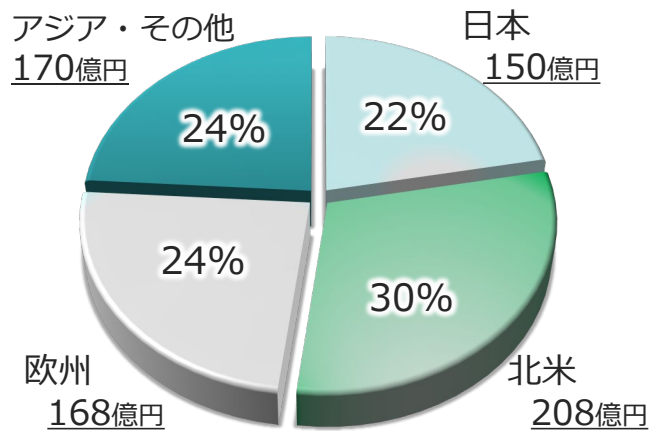
■ アイケア・ビジネス



地域別売上高

FY2019/上期

695億円

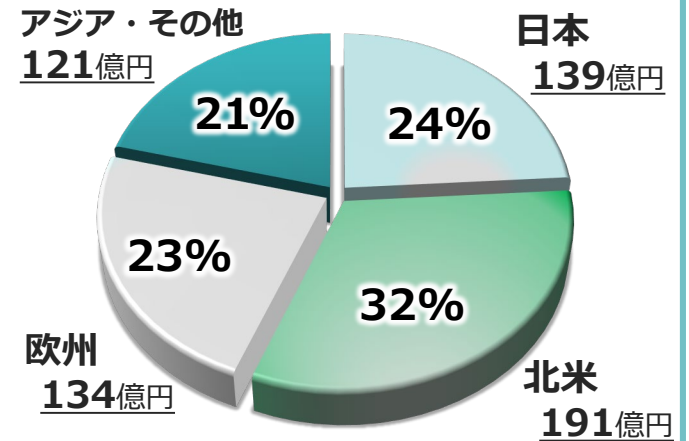


前年同期比

△16%

FY2020/上期

585億円

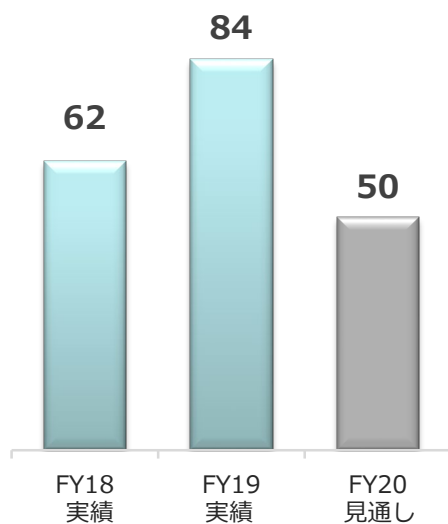


設備投資および研究開発費 / 為替感応度

■ 投資額・費用見通し

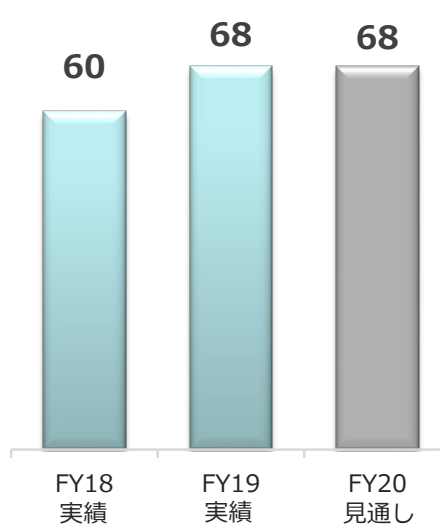
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費*

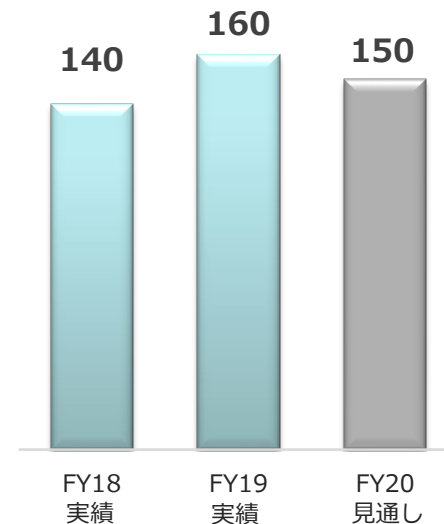
(単位：億円)



*のれん償却費を除く

研究開発費

(単位：億円)



■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>